



姫路城
世界遺産登録
30周年記念

阿部知二

特別展

没後50年 姫路が生んだ二人の作家

2023 12/2 (土) ~ 2024 2/4 (日)

会場／姫路文学館 北館

※休館日／月曜日、12月26日～1月5日、1月9日 ※ただし、1月8日(月・祝)は開館

開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料／一般700円、大学・高校生400円、中学・小学生200円

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方(手帳またはミライロID手帳画面をご提示ください)及び介護者1人は半額。

※20名以上の団体は2割引 ※常設展示も観覧可

主催／姫路文学館

後援／朝日新聞姫路支局、NHK神戸放送局、神戸新聞社、産経新聞社、サントレビジョン、播磨時報社、播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、姫路シティFM21、毎日新聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西

阿部知二 と 椎名麟二展

椎名麟二



姫路文学館
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE

<http://www.himejibungakukan.jp/>



椎名麟三原稿「黒い運河」(昭和21年7月脱稿)
「黒い運河」はデビュー作「深夜の酒宴」の原題。



椎名麟三旧蔵の哲学書(キルケゴール「死に至る病」
「哲學的斷片」・ニーチェ「如是説法 ツァラトゥストラ」)と
ノート「キルケゴール研究」

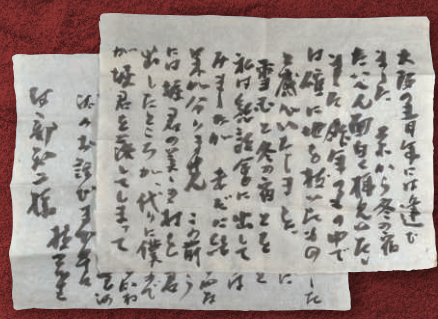
椎名 麟三 しいな・りんぞう 明治44(1911)～昭和48(1973)

姫路市書写の生まれ。姫路中学校を中退した後、商店員・コック見習い・電車車掌など、職を転々とする。共産党員として検挙され、獄中で転向。ニーチェやキルケゴール、ドストエフスキーから強い影響を受ける。敗戦の翌年に「深夜の酒宴」を発表し、敗戦直後の廃墟に人間存在の意味を真向から問う作家として登場した。野間宏、梅崎春生らとともに第一次戦後派を代表する。主な作品は、『永遠なる序章』『邂逅』『自由の彼方』『美しい女』など。演劇、映画、ラジオドラマのシナリオも多数。

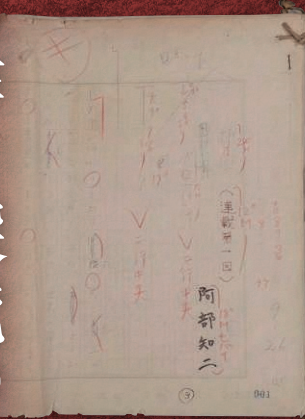
作家独自の創作と探究の軌跡をたどる

昭和48年(1973)、昭和文学史に異彩を放つ姫路ゆかりの作家が相次いでこの世を去りました。一人は、日本的な抒情性と西欧文学の教養に裏打ちされた知性によって美とヒューマニズムを探りつづけた阿部知二。もう一人は、その苛酷な体験をもとに社会の陰鬱とした側面を見つめながらも、人間の生き方に通底する「ほんとう」を追い求めた椎名麟三です。

本展では、時代の動きに呼応し、刺激され、反発しながら活躍したそれぞれの作家人生と発表作をたどるほか、姫路城という共通テーマから阿部の短編集「城―田舎からの手紙」と椎名の戯曲「姫山物語」にも注目。戦後において阿部が土壌をはぐくみ、椎名が継承・発展させた姫路の文化振興の軌跡も取り上げます。映画や演劇、ドラマなど、小説にとどまらない作家たちの創作活動もお楽しみください。



横光利一 阿部知二宛書簡
(昭和12年4月14日消印)『冬の宿』の感想を綴る。



阿部知二「原稿捕囚」※部分
(連載第1回)「文藝」昭和46年8月号掲載
哲学者三木清を二個の思想人」の典型として描く。
阿部の死後、未完のまま発行された。

阿部 知二 あべ・ともじ 明治36(1903)～昭和48(1973)

岡山県美作市生まれ。9歳のとき島根県から姫路に移り、姫路中学校を卒業。旧制第八高等学校を経て東京帝国大学英文学科に学んだ。昭和5年、モダニズム作家として文壇に登場。主知的文学論を唱え日本の文壇に挑戦し、昭和10年代には不安な時代を生きた青年たちの憂鬱を描いて人気を博した。戦後は、戦争体験の反省から平和のための社会参加を積極的に行う。主な作品は、『冬の宿』『風雪』『日月の窓』『捕囚』など。英文学研究やメルヴィル『白鯨』などの翻訳も多数。

記念イベント 会場／姫路文学館講堂(北館3階)

映画「冬の宿」上映会

1938年に公開された阿部知二原作の映画「冬の宿」(東京発声 監督・豊田四郎)を上映します。※国立映画アーカイブ蔵・兵庫県映画センター協力

- 日時／2023年12月2日(土) 午後1時30分～3時(開場は1時)
- 定員／150名(当日先着順・特別展観覧券の半券が必要)

展示解説会

- 日時／2023年12月23日(土) 午後1時30分～3時(開場は1時)
- 講師／担当学芸員 ●定員／100人(当日先着順・無料)

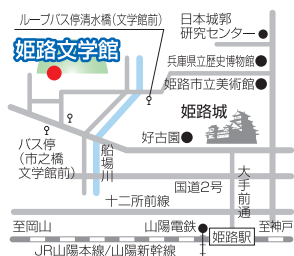
朗読会「ふたりの「姫路」」

阿部知二の短編「城」(1948年)と椎名麟三の戯曲「姫山物語」(1963年)(それぞれ抜粋)を朗読します。

- 日時／2023年12月17日(日) 午後1時30分～3時(開場は1時)
- 出演／音訳ボランティアグループ サークルさえずり ●定員／100人(当日先着順・無料)

椎名麟三セミナー「椎名麟三の思想」

- 日時／2024年1月13日(土) 午後1時30分～3時(開場は1時)
- 講師／玉田宏克(学芸員) ●定員／100人(当日先着順・無料)



ア
ク
セ
ス
●JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス9・10・17・18番のりば(一部停車しない系統があります。ご確認ください)で乗車6分、「市之橋文学館前」下車、北へ徒歩4分。6番のりば城周辺観光ループ(バス乗車10分、清水橋(文学館前))下車、西へ徒歩3分
●山陽自動車道姫路東ICあるいは姫路西IC、下車約20分 ●姫路バイパス中地ランプ下車約15分

QRを読み込んで簡単アクセス
姫路文学館公式アカウントで情報を発信中!

ご来館の際の注意 ●展示会場の混雑を緩和するため、入場規制を行う場合があります。●駐車場の台数には限りがあります。公共交通機関のご利用にご協力ください。●最新情報は当館ホームページ等でご確認の上、ご来館ください。

来場者限定 プレゼント

姫路文学館
友の会協賛

来場者全員に朗読音声にアクセスできるQRコード付しおりをプレゼント。
速水奨さんが朗読する椎名麟三「美しい女」、
桂佑輔さんが朗読する阿部知二「冬の宿」
をご自宅でもお楽しみいただけます。



速水奨(声優)

桂佑輔(声優)

他館イベントのご案内

特別企画展
「チームラボ
無限の連続の中の存在」後期
開催中～2024年1月21日(日)

姫路市立美術館 ☎079-222-2288

「姫路城ゆかりの工芸
―開窯200年の東山焼、寿ぎの高砂染を中心に―
開催中～2023年12月24日(日)
新春特別展「書家・金澤翔子展」
2024年 1月6日(土)～4月7日(日)

姫路市立美術館 美術工芸館 ☎079-267-0301